



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



こんな時だからこそ「思いやり」のある言動を



新型コロナウイルスの感染が広がる中で発生したのが「差別や偏見」の問題です。感染した方やそのご家族、そして、感染のリスクが高い医療関係の方々などに対する心ない言動があると聞き、本当に悲しく、そして腹立たしくなります。

当たり前のことですが、ウイルスは小さすぎて肉眼では見えません。また、新型コロナウイルスについては、感染していても自覚症状がない場合もあるので、誰が感染しているのかわかりにくいのが特徴です。こうした「わからない」という不安が、感染を恐れる気持ちを誤った方向に導き、「差別や偏見」を生んでいるのではないのでしょうか。

最近は、そうした「差別や偏見」を恐れて、「病院に行かない（行けない）」「体調が悪いと言わない（言えない）」人などが増えているとも聞きます。これは、新たな感染拡大につながる危険性を高めていることとなります。そうした現状になってしまっていることが本当に残念ですし、怖いことだと感じます。

誰も、自分の命が大切です。その命を守るために「正しく恐れましょう」ということが、これまでも言われています。そこで、マスクをつけたり、距離をとったり、手洗いをしたりすることが「当たり前」「ルーティン」になるよう、社会は今動いています。これは、自分だけでなく他人の命を守る『思いやり』に満ちた行動でもあるのです。

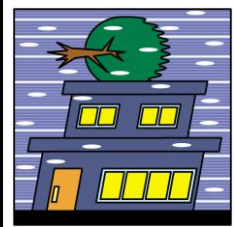
もちろん、毎朝お願いしている健康チェックも同様です。先日の「いっせいくん」メールにも書きましたが、多数の子どもたちが集まる学校での集団感染を防ぐカギは、継続的な健康チェックの徹底と、「もしかしたら・・・」を想定した慎重な登校判断だと思います。チェックリストの不備に対して、朝のお忙しい時間に電話で確認するのは本当に心苦しいのですが、学校にも「子どもたちやそのご家族などの命を守る責任」の一端があります。ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて、文部科学大臣がメッセージを出されています。本校ホームページからもご覧いただくことができます。



台風10号による激しい風で、本校の木は相当折れてしまいました。まだまだ台風発生の可能性は高いようです。学校施設の安全点検など「日頃の備え」を怠らないようにしたいと思います。

台風の被害はございませんでしたか？



受賞しました

以前、受賞をお知らせした「令和2年度 学童交通安全運動実践優秀校 優秀賞」の表彰状と表彰盾が、福岡県庁から届きました。「学校安全」を本校のよき伝統のひとつにしていきたいものです。

健康診断が始まりました

本来、学校での健康診断は6月までに終わらせなければなりません。しかし、本年度は休校の関係で、本市でもやっと始まったところです。

昨日は、内科検診（2回目）でしたが、校医さんも学校も「感染防止」に向けて細かい準備を行いました。今後、耳鼻科検診や眼科検診、歯科検診などが予定されています。検診後、治療を勧められる場合もあります。検診が例年より遅いので、早めのご対応をお願いいたします。

